

ジャパンプラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

8 月度理事会議事録

上野正安会長以下新年度役員決定・一年間よろしくお祈いします 秋のピクニック・講習会、講演会等について話し合う

ジャパンプラブ 8 月度理事会は 8 月 5 日(水曜)6:30より、日米会館会議室において先の定期総会で承認された理事、新理事 2 名を始め会長以下 11 名が出席して行なわれました。

1) ジャパンプラブ定期総会(報告)

さる 7 月 18 日(土曜日)に開かれた定期総会は 28 名の会員(他に委任状提出 20 名)の参加のもと成功裏に開かれました。詳細説明が 2 面にあります。承認された新年度の理事は以下の通りです。(アルファベット順)

福光哲史(再)	古田紘一(再)	後藤哲男(新)	早川真佐緒(再)
広久寿(再)	柏原紀子(再)	川野征三朗(再)	北哲也(再)
大隅敏男(再)	沖山泰彦(再)	大槻悦子(新)	下村昌子(再)
榎木隆子(再)	上野正安(再)	浦田伸夫(再)	以上 15 名です

さらに沖山泰彦会計理事から総会の収支報告と、新年度の予算案が提示説明されました、この中でより健全な会の運営の為開催行事に於ける収支のバランスを出来るだけ良くする、即ち赤字を少なくする事が目標との説明がありました。(詳細をお知りになりたい方は事務局迄)

2) 新年度の役員選出

今回は新役員選出を予め各理事に郵送で投票用紙を配布し、出席できない理事にも参加していただけるようにしました。理事会でさらに検討の結果下記の通り新役員が決まりました。一年間よろしくお祈いします。

新役員紹介

会長: 上野 正安	会計: 沖山 泰彦
第一副会長: 福光 哲史	会計監査: 広 久寿
副会長: 大隅 敏男	事務局長: 古田 紘一
副会長: 柏原 紀子	催事担当: 北 哲也
	広報担当: 大隅 敏男・福光 哲史

お知らせ 緊急連絡網 EB-1 と EB-2 の方にお知らせ

緊急連絡網リストは既に全会員にお送りしておりますが、湾東地区の「EB-1」と「EB-2」の会員の希望による移動と新会員の転入等で一部訂正変更が生じました。この両地区の皆さんには訂正した新しいリストを今月号のニュースレターに同封しておりますので、確認の上、古いものに替えて保存してください。

3) 秋の恒例ピクニック

9 月 19 日(土)開催は既に決定されていますが、会費について色々な意見が出ました、昨年度の収支は 28 名(ゲスト 1、子供 1)の参加で \$130.54 の赤字でした、催事の収支を出来るだけ改善するとの目標に鑑み「会費を少し上げても」との意見もありましたが、出来るだけ大勢の方に楽しんでいただく為に、昨年同様 \$15 に据え置き、参加会員・ゲストを増やす事に力を入れる事になりました。担当者や道具、食材等の詳細は次回 9 月の理事会で決定されます。会員の方は勿論、お友達にも声をかけて出来るだけ多くの参加をお願いします。(参加申し込み用紙が同封されていますので今すぐお申し込みください、必要な方にはカープールの手配もお手伝いします)

4) その他

先月 7 月 29 日に行なった米国赤十字社訪問の様子について大隅敏男副会長から報告がありました。これは去る 6 月 20 日に開かれたジャパンプラブ緊急連絡網担当者会議に米国赤十字社の小川理事を始め担当者をオブザーバーとしてお招きした事への答礼訪問としてなされたものですが、同時に単に儀礼的な訪問としてではなく、今後の連携や講習会、講演会等具体的な展開に発展できる事と期待されています。

次回理事会は、2009年9月2日(水)に日米会館階会議室に於いて 6:30より開催されます。8月1日現在会員数は64名です。

サンフランシスコ領事館 領事部門 新相談員紹介

サンフランシスコ日本国総領事館では領事部門のサービス強化として本省から領事相談員、市川俊治さんが派遣され、領事部窓口で既に活動されております。

市川さんは領事セクション領事セクションを訪れる人達への案内や質問等に領事館員の補助役として勤務しておられますが、年金問題については非常に詳しい方で、小川康弘領事もジャパンプラブの会員で年金関係で質問等のある人は市川さんに連絡を取るようにと語っておられます。

市川俊治さんへの連絡は、電話: (415) 356-2468(直通) または E-mail: con-g@ogisf.org です。

上野正安会長挨拶 (要旨) 第15回ジャパンプラブ定期総会報告(1)

「日本経済が伸びきり高度成長期が終わって、そろそろ悪運が始まろうとする 1995 年、地下鉄サリン事件や阪神淡路大震災等が発生した時代を背景にジャパンプラブは結成されました、親兄弟や身内のいない外国生活の中で起きる災害等では助け合えるのは友人、知人同士しかありません、そうした受け皿として誕生したジャパンプラブも 15 年と云う年月があっという間に過ぎましたが

この間幸いにも大きな災害に見舞われこそしなかったものの年 6 回以上催しているイベントや企画・講演会等で会員同士の友好が深まり財政的にもジャパンプラブは大きく成長し、素晴らしい組織になったと思います

ただ 15 年の歳月は会員の皆さんの高齢化を招くと云う結果を生んでおり、ジャパンプラブを今後も成長させ目的を継ぐ為には若い人達の加入が必要不可欠です、今後は皆さんと力を合わせて若い血の流入に力を注ぎ他に例を見ない素晴らしいジャパンプラブに成長させるよう頑張りましょう」



参加者全員で 写真提供: 大隅敏男副会長

第15回ジャパンクラブ定期総会報告(2)

“若い血を呼び込もう”を今後の目標に第15回ジャパンクラブ定期総会が7月18日(土)午前11時からミルブレーの王将レストランに於いて総領事館から光岡英行首席領事、小川康弘領事を来賓に迎えて古田紘一事務局長の司会で開催しました。

冒頭の挨拶に立った上野正安会長は「15年間に立派な会に成長したが年を経る事により会員の年齢も上がり若返りが今後の課題」だとの主旨の挨拶(詳細別記)があった後、大隅敏男副会長を議長に議事に移りました。

まず沖山泰彦会計理事による08年度の決算報告及び09年度予算案を、そして古田紘一事務局長からの事業報告と09年度の事業計画案が報告されいづれも承認された。次いで福光哲史副会長から09年度理事会構成メンバー候補者が発表され新たに後藤哲男さんと大槻悦子さんの2名の候補者と13名の現行理事留任案が示され了承されました。同時に吉村信行理事が退任された事が報告されました。(新理事名は別記記載)

尚、会長初め役職担当は8月の理事会に於いて互選され決定、ニュースレターで全会員に報告されます。

拍手の中総会は無事終了しましたが今回の総会には28名の会員の出席と20名の委任状提出者がありました。

小休止の後、沖山泰彦理事の乾杯の音頭で親睦食事会に移り、北哲也副会長が王将の料理担当者との話し合いで作られた日本料理に舌づつみを打ちながら和やかなひとときを過ごしました。

今年の総会に中国の現状についての講演を特にお願いした光岡英行首席領事の「時局講演」が引き続いて行なわれ、中国留学生活時代から外務省に入って15年間勤務した中国各地の在外公館勤務で体験された、又感じられた中国が詳細に説明されました。

中でも中国人と日本人の歴史認識の違い、中国人の日本人への憎しみの根深さには驚かされました。又建国60年を迎えた中国は前半30年と後半30年の著しい政治の変転、市場至上経済に移った現在の貧富の差、その中での中国人の意識や、1930年代日本が官民あげて建国した旧満州の現状等、自らの体験や中国の人達との接触の中から知り得た知識を織り交ぜて語っていただき有意義な時間を過ごす事が出来、全員が中国通になった様で講演会は大成功でした。

今年の総会は今迄と場所も形式も異なる形での初めての事でしたが、環境を変えて開催するのもある意味で新鮮さも加わり良いものだと実感、今後の参考にもなったと感じられました。



上:挨拶をされる上野正安会長、
左:「時局講演」で中国のお話をしてくださる、光岡英行首席領事、
下:会場と参加会員 写真提供:大隅敏男副会長



新任理事紹介「新理事はこんな人」

後藤哲男さん

「今迄南の方に住んでいるのと、あまり会の人を知らないのので何のお役にも立てなかったのですが私はジャパンクラブが出来た時から、大隅さんに誘われて入会していたんですヨ、餅つき新年会に顔を出す程度でしたがこれを機に少しはお役に立つようにいたしましょう」と、大隅敏男副会長(先期)のかつての勤務会社、三井物産の先輩に当たる後藤さん、1973年から76年迄三井物産サンフランシスコ支店の総務課長として初めて当地に、その後アラスカ、テネシー等の各地に勤務1998年三井の子会社の現地法人に勤務のため再度ベイエリアに移住、今日に及んでおられるとの由。奥様がフットヒル/ウエストバレーカレッジで日本語講師をしている関係に加えて住み良いベイエリアは離れられませんと、ご夫妻でこの地の生活を満喫されているご様子です。

ご出身は東京「会員同志の相互扶助はお互いに必ずお世話になる機会があると思いますヨ」とジャパンクラブの目的を賞賛されました。

大槻悦子さん

イーストベイのエミリービル在住の大槻さん、かつてジャパンクラブの会長を務めていた貝沼禎介さんご夫妻や、現在も同じエリアに住む正田和代さんと連れ立って色々な会合には必ず顔を出して、明るい笑顔を振りまいておられた大槻さんも、昨年2月自らリタイヤーを宣言された後、少しは時間が自由になったので会のお役に立ちましょと、ジャパンクラブ創立以来のメンバーのお一人が初めて理事になられました。

1979年結婚のため渡米、一生懸命働いたそうです、又23年間7名の従業員を使いハウスクリーニングの会社を経営、そのかたわらレストランに勤務、またプロの腕前と云われる陶器の制作と、まさに走り抜けたこの人の人生。

福島県の移住者で作る「福島県人会」の副会長を6年務めている大槻さんに対し県人会のメンバーは「明るい性格とはっきりと良し悪しを表現する事と何事にも一生懸命やる人で頼もしい人です」と好評価、ジャパンクラブでの今後の活躍も大いに期待したいですネ。

退任理事「ご苦労様でした」

吉村信行さん

長くジャパンクラブの理事を務めてくださいました、特に餅つき新年会、バス旅行、ピクニックなど会の大事な催しには大きな力を発揮してくださいました。現在、詩吟グループ「国誠流詩吟北加連合会」のサンフランシスコ支部長の職にあり両立が大変難しとの事で前期末で理事を退任される事になりました、今後も一会員として会の催しに色々アドバイスをいただけるようお願いします。長い間ご苦労様でした。

第45回衆議院議員選挙の投票

第45回衆議院議員選挙が8月19日公示、8月30日投票で日本全国一斉に行なわれます。今回の選挙は与・野党逆転となるか如何かを問われる政権選択の選挙として注目されていますが外国に在住する日本人も今迄通り居住地を所轄する在外公館での投票か郵便による投票等で参加する事が出来ます。この在外公館での投票はすでに「在外選挙証」を持っている人に限られますが、投票に際しては、お持ちの「在外選挙証」にパスポート又は公的機関の発行する写真付き身分証明証の携帯が必要です。

在サンフランシスコ日本国総領事館での公館投票日は8月19日(水)から22日(土)までの4日間、午前9時半から夕方5時迄、サンフランシスコ市内50フリーモント通りの22階、総領事館講堂が会場となっています。又、選挙対象は、小選挙区と比例代表の候補者それぞれ1名です。被選挙候補者名は総領事館の投票場所に表示されますが日系メディアなどを通じて事前に調べておかれる事をお勧めします。